

Ver.1.0

報告日時：2022年3月30日

福島県沖地震（2022.3.16）地震被害調査〔速報〕

調査日時：2022年3月25日から26日〔報告箇所〕

報告者：福井工業大学 竹田周平

Mail:s-Takeda@fukui-ut.ac.jp

調査場所：福島県双葉町・南相馬市・相馬市・新地町
宮城県山元町・白石市

本調査報告は、現地で目視した結果（詳細な測定や分析を伴わない結果）、また地域住民からのヒアリングに基づき取りまとめた速報版である。このため、今後の調査や分析結果等により加筆修正が行われることを付記する。

調査位置



南相馬市鹿島区

浪江鹿島線沿いを中心に調査

確認された被害：路面変状、ブロック塀倒壊、宅地被害（瓦や壁面、傾斜）

ブロック塀の倒壊：様々な高さのブロック塀の倒壊が確認。防護柵との複合型のブロック塀の倒壊も確認された。



壁面等被害：サッシや壁の被害が確認された。



住宅の半壊：一階部の隅角部で大きく変形。



屋根の被害：この地区では一定数で瓦被害が確認された。一部は写真の様にシートで養生。



相馬市尾浜

確認された被害：路面変状、擁壁被害、宅地被害（瓦や壁面、傾斜）、護岸変状

路面変状：マンホールを中心にクラック、隣接の宅地まで影響している。地盤の側方移動の可能性あり。



擁壁損傷：宅地擁壁の縦壁（コンクリート構造）が大きく損傷。道路側に傾斜していることが確認される。



路面変状と擁壁：路面からのひび割れが宅地の擁壁まで影響。ブロック塀（赤矢印）にもクラックの損傷が確認される。



護岸変状：護岸と防護柵が比較的大きく沈下していることが確認される。防護柵は全体的に道路側に傾斜，倒れている。



百間橋

確認された被害：アプローチ部・取り付け道路の被害，護岸の変状等

橋梁の全景：令和2年3月竣工



左岸側橋台の支承：相対変位を確認。但し地震の影響が不明。要調査が必要。



アプローチ部：カルバート周辺の変状やクラックが確認される。



橋台全面の護岸：沈下と移動と思われるクラックが確認されたが、この地震によるものか要調査が必要。



横断歩道橋

確認された被害：側径間の桁落下、周辺路面の変状

橋梁の全景：側径間部の上部構造が落橋、橋脚や桁の変状は確認されなかった。



落橋部：橋脚の大きな損傷は確認されない。完全落下側。



落橋部：橋脚の大きな損傷は確認されない。



周辺地盤の変状：橋梁付近の路面で大きなクラックを確認。



水管橋

確認された被害：伸縮管からの漏水、堤防付近の管路部の変状

橋梁の全景：道路橋に平行に架設。隣接の道路橋は橋台背面の沈下による段差。



堤防部：管路付近にクラック、段差確認される。



伸縮管：右岸側の伸縮管から漏水が確認される。



白石市 国道4号及び新幹線脱線現場付近

確認された被害：地盤の変状、新幹線高架橋に被害

橋梁の全景：新幹線の脱線車両の復旧作業中。



高架橋の下部構造：水平梁に損傷確認される。



国道4号の被害：路面クラック等の変状，電話ボックス及び倉庫の沈下傾斜



国道4号の被害：路面にクラック、変状確認。

